

令和4年度大阪大学一般選抜（前期日程）の地理歴史（地理）  
における出題の誤りについて

令和4年6月10日  
大 阪 大 学

このたび、令和4年度大阪大学一般選抜（前期日程）の入試問題のうち、地理歴史（地理）に出題の誤りがあったことが判明いたしました。そのため、改めて採点及び合格者判定を行い、新たに1名を合格者としました。

受験生、ご家族及び関係者の皆様には多大なご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

本学としましては、今回の事案を厳粛に受け止め、今後このようなことが生じないよう、教職員の意識向上に一層努めるとともに、鋭意、再発防止に向けて取り組みます。

記

I 概要

1. 学部学科名  
文学部（人文学科）
2. 入試方法区分  
一般選抜（前期日程）
3. 試験実施年月日  
令和4年2月25日（金）
4. 合格発表年月日  
令和4年3月9日（水）
5. 誤りのあった試験科目  
地理歴史（地理）

当該科目を選択科目として課している学部学科  
文学部（人文学科）  
（地理歴史又は数学のいずれか選択。地理歴史の場合は世界史、  
日本史又は地理のいずれか一つを選択）

6. 当該入試区分の募集人員  
135名
7. 当該科目の受験者数  
12名
8. 誤りのあった問題の配点（素点）

大問（Ⅰ）問１ … １５点

９．誤りのあった科目の満点（素点）

地理 … １００点

Ⅱ 誤りの内容、発見の経緯及び経過、対応

１．誤りの内容（別紙参照）

地理科目 大問（Ⅰ）・問１中の図１（散布図）において、グラフ上に示されたプロットの位置関係が実際の統計上の数字と異なる分布になっていた。

具体的には、（１）縦軸に割り当てられた数値が国際観光客の到着数ではなく、出発数であったこと、（２）横軸の正しい伸び率を示す位置にプロットしていなかったこと、（３）「アフリカ」「中東」の国際観光客の出発数に誤りがあったことである。

結果として、グラフ上の表示が（１）各地域（円積表示されているプロット）の散布図上の縦方向の相対的位置関係は変わらないが、（２）横方向に関しては、実際には「アジア・オセアニア」「アフリカ」「ヨーロッパ」「中東」「北・中央・南アメリカ」の順に高い数値であるところ、「中東」「アフリカ」「北・中央・南アメリカ」「アジア・オセアニア」「ヨーロッパ」という順に誤って示されていた。

２．発見の経緯

令和４年５月３０日に、令和５年度入試の地理問題作成委員が、問題作成準備のため、過去の入試問題である令和４年度地理問題を点検中に発見した。また、後日、学外より同箇所についての指摘があった。

その後、入試委員会出題検証小委員会を開催し、当該図が誤りであることを確認した。

３．対応

この設問は、国際観光客流動の世界の諸地域における特徴を、国際観光客到着数とその伸び率、及び地域内・地域外観光客移動数の比率などのデータを手がかりにして推定することを求める設問であった。

当該問題については、問いに対する解答は不可能ではないとは言え、一部誤ったデータにより作成された図によって解答を求める形式となっていたことは、入学試験問題として不適切であり、全員を満点扱いとした。

４．新合格者

１名

（新合格者ご本人から、個人が特定される恐れのある情報は公にしてほしくないとの強い要望がありました。このことから、ご本人の意向に沿い、個人が特定される情報については公表しないことといたしますので、ご理解とご配慮をお願いいたします。）

Ⅲ 誤りが起こった原因

地理問題作成委員による図の作成時において、出典資料からデータを抽出する過程とグラフの作成過程に錯誤があった。さらに査読・校正作業においても図とその出典資料との突き合わせを十分できていなかった。

#### IV 新合格者への周知方法

新合格者には、6月5日に直接お会いし謝罪と経緯説明を行った。

#### V 再発防止策

今後の出題については、問題作成段階において、従来から行っている

- 問題作成に関わった教員による複数回（4回）にわたる内容及び記載の精査
- 問題作成に関わっていない教員による問題等の複数回（2回）にわたる確認
- 問題作成責任者と入試課との綿密な打ち合わせ

に加え、再発防止の追加策として、新たな学内の第三者による内容及び記載の精査を実施する。

また、これらの実施を確実なものとするため、問題作成の各段階においての確認すべき工程を可視化して、入試の実施責任者による管理を徹底する。

なお、今回の出題誤りは、「Ⅲ 誤りが起こった原因」にあるとおり、出典資料からデータを抽出する過程とグラフの作成過程の錯誤を査読・校正の際に発見できなかったことに起因している。今後は、特に図表等の出典元データと試験問題との整合性の確認、内容及び記載の精査の回数を増やし、問題等の確認体制のさらなる強化を図る。

以上のことにより、再発を防止する。

（本件問合せ先）

大阪大学 教育・学生支援部 入試課  
admission@office.osaka-u.ac.jp

## 令和4年度一般選抜（前期日程） 地理歴史（地理）試験問題（抜粋）

## Ⅲ 地理問題

(I) 観光・交通と人の移動に関する次の問い(問1～問4)に答えなさい。

問1 下の図1は、いくつかの地域の2018年における国際観光客到着数と伸び率(前年比)を散布図で表したものであり、図中の円の大きさと円内の数字は国際観光客出発数(単位:100万人)を示している。また、次ページの表1は同年における国際観光客の発地と着地との関係を示す資料である。図1と表1を参考にして、発着地の関係に言及しながら世界の国際観光客流動について説明しなさい(150字程度)。

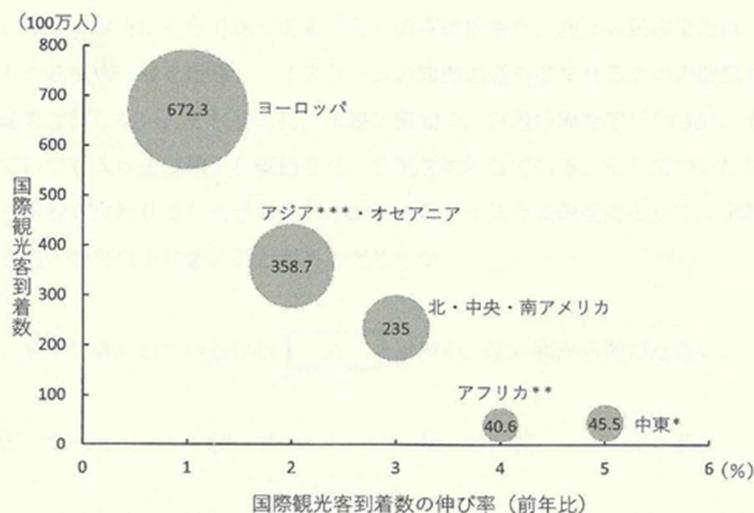


図1

(注) 円の中心が縦軸・横軸の値に相当する。\*中東にはエジプト・リビアを含み、イランを含まない。\*\*アフリカにはエジプト・リビアを含まない。\*\*\*アジアにはイランを含み、それ以外の西アジアを含まない。

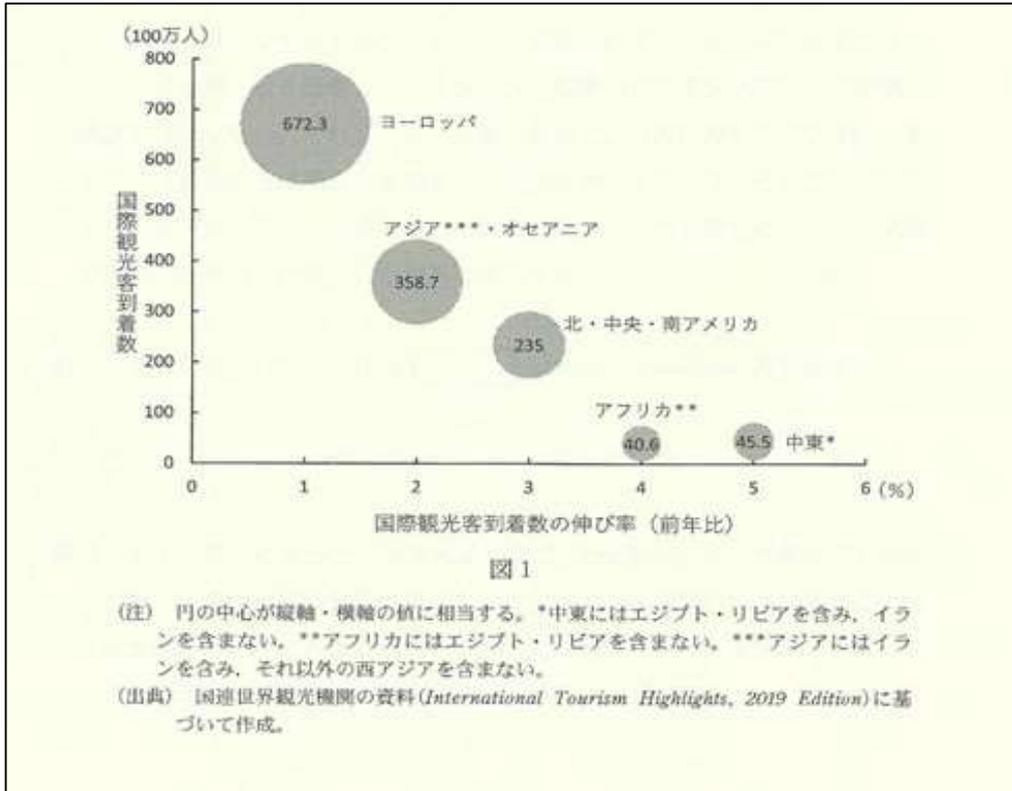
(出典) 国連世界観光機関の資料(International Tourism Highlights, 2019 Edition)に基づいて作成。

表1

発着地の関係	国際観光客到着数(100万人)
地域内への国際観光	1058.0
地域外への国際観光	294.2

(注) 「地域」は図1の地域分類による。国連世界観光機関の資料(International Tourism Highlights, 2019 Edition)に基づいて作成。

【誤】



【正】

